

難聴の子が活躍できる共生社会の発信を、ここ福岡から

難聴の子を持つ家族会「そらいろ」創立2周年

福岡市を拠点に活動を行う難聴の子を持つ家族会そらいろ（福岡市、会長：岩尾至和、以下「そらいろ」）は、2019年12月、創立から2周年を迎えました。



「難聴の子どもが、社会でうまくコミュニケーションをとれるように、また、難聴の子どもがいる家族が、不安を取り除いて、安心して温かい家族関係を作れるように」をビジョンに掲げ、2017年12月に創立しました。4家族からのスタートでしたが、現在は35家族・1専門団体が参加しています。

そらいろは「学び・娯楽・サポート」の3軸で活動を展開しておりますが、今年は“学びの場”を多く設けました。言語聴覚士や大学教授の専門家、難聴児を育てている先輩保護者、人工内耳の大学生、ろうの方などそれぞれの立場からお話を聞くことにより、難聴に関する正確かつ具体的な情報収集・共有を続けています。また、難聴を知るミニ冊子『難聴の8つのおはなし』(※1)を作成し情報提供を始めるといった活動内容を複数の新聞・テレビで紹介いただくことができました。今後は本活動を通じて得た学びを、聴覚障がいの理解促進を目指す複数の企業のご協力を仰ぎながら、地域に発信していく予定です。

今年は、福岡市において聴覚障がいに関するサポートが大きく広がった年でもあります。4月より「新生児聴覚スクリーニング検査」が全額補助され(※2)、また11月から人工内耳対外器（交換・修理）の助成がスタートしました(※3)。これは、聴覚障がいの早期発見・早期療育に繋がると同時に難聴児の子育てをしやすい環境づくりに大きく寄与するものと心強く感じています。

そのような支援が広がる状況を踏まえ、そらいろは定例会(※4)を中心として、加配制度や就学相談の改善、難聴理解を広げる活動、難聴の障がい者認定基準の見直しなどを今後も展開してまいります。

(※1) 難聴を知るツールとしてあいあいセンター（福岡市立心身障がい福祉センター）と連携して作成。

(※2) 福岡市ホームページより (<http://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/67786/1/HPTirasi.pdf?20190329182515>)

(※3) 福岡市ホームページより (https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/zaitakushien/nitijyoseikatuyougu_201707.html)

(※4) 【第12回定例会】2019年12月15日（日）の10:00～12:00、あいあいセンターにて実施予定

【本件に関するお問い合わせ先】

難聴の子を持つ家族会 そらいろ <https://sorairofukuoka.jimdo.com/>
担当：岩尾（いわお） e-mail：yukikazu_iw203@blue.plala.or.jp